

# 神を感得する道を提唱した

#### 【木村重信】

(大阪大学名誉教授。国立国際美術館長、 兵庫県立美術館長などを歴任)

なり』と規定して、独自の宗教・ 芸術一元論を説き、美によって 神を感得する道を提唱した。古 くから宗教を芸術の母体と考え る思想は、東洋にも西洋にも あった。そのような考えに支え られて、仏画や神像、寺院や聖 堂などの厖大な宗教芸術がつく られた。ところが、王仁三郎の 考えはその逆である。

と芸術の創造原理との同一性を 説く。彼の作品に『天国』と名 づけられた茶盌が多くあるが、 これは意味深長である」

# 王仁三郎は 美によって

「王仁三郎は『芸術は宗教の母

…王仁三郎は自然の産出原理

をして神の温懐に立ち遷らし最深の要求を充たしつつ、人の至情に根底を固め、共に霊 の至情に根底を固め、共に霊如きもので、二つながら人心 の如く、親子の如く、 言ったことがある。 (中略) つて芸術は宗教の母なりと 瑞ざい 月ざっ 芸術と宗教とは、 人生の大導師である。 (出口王仁三郎)はか しかしそ 夫婦の でなければならぬ」

(天声社発行・出口王仁三郎者『霊界物語』第65巻 「総説」より)

# 出で 口ぐち 王<sup>指</sup> 一 ここと 郎う

教の母なり

兄弟姉妹

動かんとするのが、 芸術的産物である。 森羅万象は、何れも皆、 的真態に触れ、神と共に悦楽 術者、すなわち造物主の内面 よりて造られたる、天地間 はない。 わるる如きものを言ったので の芸術とは、 神と共に生き、 造化の偉大なる力に 今日の社会に行 神と共に この大芸 真の宗教 神の



## ◆出口主仁三郎 (1871-1948)

明治4年(1871)京都府亀岡市曽我部町穴 太に上田家の長男として生まれる。江戸中 期の円山派絵師、円山応挙(旧:上田主水、 1733-1795)の直系、子孫。

明治 32 年 (1899) 大本開祖・出口なお (教祖) に招かれ、「大本」入りし、出口なおとともに、大本教祖となる。

宗教家・思想家であると同時に芸術家としても知られ、「耀盌」をはじめとした陶芸・書・短歌などの芸術作品は、数万点にのぼる。



大本開教 120 年記念事業の一環として、京都府亀岡市の大本本部に平成 23 年 5 月、新築された「みろく会館」2 階に大本の展示室を開設しました。

平成24年5月「ギャラリーおほもと」としてオープン。 「ギャラリーおほもと」では、<u>『丹波亀山城と大本』</u> についてのビデオ上映も行っています。

『ギャラリーおほもと』

## ギャラリーおほもと(東光苑)

東京でも耀盌などを常設展示しています。

【問合せ先】 大本東京本部・東京宣教センター ☎ 03 (3821) 3701 FAX:03 (3821) 5283

# 「ギャラリーおほもと」にて、耀盌47点を一挙展示

# 特別展示耀架

王仁三郎の制作した楽焼茶碗は、昭和24年、美術評論家・加藤義一郎氏によって、「耀盌」と名付けられ、陶芸専門誌に発表されると、全国で展覧会を開催。 昭和47年、耀盌は欧米に渡り、3年3カ月にわたり、6カ国13会場で行われた展覧会では、約25万人が色彩豊かな耀盌の耀きに魅了された。

この度、「**耀盌」47点を一挙に展示**いたします。多くの皆様にご鑑賞いた だきますよう、ご案内いたします。

#### 《開催期間》

令和元年11月2日(土)▶令和3年1月17日(日)

#### 《入館時間》

午前9時30分~午後4時30分(閉館:午後5時)

### 《入場券》

一般: 300円(中学生以下は、無料) ※入場券は、大本本部総合受付にて購入できます。

### ギャラリーおほもと **アクセス**



JR 山陰本線「亀岡駅」から 徒歩で約 10 分

## 休館 日

### **毎週月曜日**

(休館日が祝日の場合は火曜日)

お問い合わせ・詳細は 0771-22-5561(代)

http://www.oomoto.or.jp

宗教法人 大本